

資料３

【富山県人口及び高齢化率】

**普及啓発**

○「県地域包括ｹｱｼｽﾃﾑ推進会議」設置

（H26.6月、会長：知事）

○県民フォーラム開催（H28.11：高岡）

○実践団体登録　⇒　ＨＰで活動を発信

登録団体数（H29.1末現在）1800団体

○実践顕彰　H27:8団体、H28:8団体

**◇県民・事業者への普及啓発の強化**

○地域包括ケアの普及啓発・担い手意識の醸成　 　 368万円

・地域包括ケアシステム推進会議の開催 （上期）

・地域包括ケア推進県民フォーラム（秋開催）

・介護予防･生活支援活動に取り組む団体の募集登録､顕彰

**H29の取組みなど**

**現状と将来推計**

**課 題**

**これまでの取組み**

地域包括ケアシステムの構築に向けた取組み

●県民・企業の地域包括ｹｱ活動参加意識の高揚



（千人）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（％）

**生活支援・介護予防**

**認知症**

○ｴｲｼﾞﾚｽ社会ﾘｰﾀﾞｰ養成塾の開催

受講生数〈H28〉85名(累計)　⇒〈H29〉目標90名（累計）

○ふれあいｺﾐｭﾆﾃｨ・ｹｱﾈｯﾄ21活動への支援

〈H28〉259地区⇒〈H33〉目標300地区

○生活支援・介護予防モデル事業の実施

生活支援 H27～ 魚津、射水、中新川

介護予防　H26～ 高岡、入善、黒部、砺波、射水

○生活支援コーディネーターの養成研修〈H28〉277人（累計）

**◇市町村の体制整備へのきめ細かな支援**

高齢者自立支援・介護予防推進事業　　　　　　　　　　250万円

・市町村が行う地域ケア会議の取組みを支援

・市町村の円滑な総合事業の実施への支援

・生活支援コーディネーター養成研修

○厚生センターによる地域の特性に合わせた市町村支援　　300万円

在宅医療・介護連携、介護予防、認知症施策

●多様な担い手(ﾎﾞﾗﾝｨｱ,NPO等）の育成・確保

●生活支援　　ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ等の人材育成

④

【富山県の認知症高齢者の将来推計】

【富山県人口及び高齢化率】　　　　　　　　　　　　　　　　 　　【富山県の認知症将来推計】



（万人）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（％）

●在宅医療による患者数は今後さらに増加

●在宅医療に従事する　医師・看護師等の参入促進

【富山県人口及び高齢化率】　　　　　　　　　　　　　　　　 　　【富山県の認知症将来推計】



**在宅医療の推進・介護との連携**

○在宅医療支援センターへの支援

郡市ｾﾝﾀｰ〈H22〉２ヵ所⇒〈H26～〉 10ヵ所（全県済）

県センター　H27.4～県医師会委託

○在宅医療に取り組む医師への支援

開業医ｸﾞﾙｰﾌﾟ数　　　　 〈H21〉　9　⇒〈H28〉15

在宅医療従事医師数　　 〈H24〉288　⇒〈H27〉456

（参考：　〃 を受けている患者〈H24〉3,725⇒〈H27〉4,810）

○病院とｹｱﾏﾈの入退院時連携ﾙｰﾙの策定

〈H26策定〉砺波、富山医療圏

〈H27策定〉高岡、新川医療圏

○訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ新設等への支援

事業所数〈H24〉39(全国41位)⇒〈H28〉61(全国38位)

大規模ST（5人以上）〈H24〉8 ⇒　〈H28〉18

**◇24時間365日対応可能な在宅医療・訪問看護の推進**

○県在宅医療支援センターの設置　　　　　　　　　　　1,178万円

在宅医療推進加速化事業（郡市医師会の取組みを支援）　 1,150万円

あんしん在宅医療IoT活用実証事業（Webカメラ等の活用を実証）1,120万円

○訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ整備の補助(新設3,大規模1,ｻﾃﾗｲﾄ2）　　　　　　1,150万円

○訪問看護職員の確保･定着のための働き方改革の推進　 2,400万円

訪問看護師の雇用型訓練（10人）、テレワークの導入（２事業所）、ICTの活用（10事業所）

訪問看護ステーションへの出向研修（病院看護職員が訪問看護技術を習得）500万円

訪問看護インフォメーション事業（対応可能な処置等の情報を発信）　　 180万円

高齢者



団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に

医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を一体的に

提供される地域包括ケアシステムの構築を実現

**◇認知症の早期発見・早期対応等の推進**

認知症疾患医療センターの設置 　　 　　1,669万円

歯科医師・薬剤師・看護職員認知症対応力向上研修　　　225万円

認知症地域支え合い推進事業　 　　　　　　　　　 　210万円

　・市町村との連携による広域での見守り模擬訓練等の実施

　・認知症サポーター上級者育成講座の指導者養成など

若年性認知症相談・支援センターの設置　 　　　　　510万円

　　就労・福祉サービスの調整等の自立支援、支援者向け研修など

○認知症疾患医療センターの設置

〈H28〉 3カ所（新川、富山、砺波医療圏）

○認知症ｻﾎﾟｰﾄ医、かかりつけ医研修

〈H28〉 ｻﾎﾟｰﾄ医76人、かかりつけ医304人（累計）

○初期集中支援チーム員、地域支援推進員の養成

〈H28〉27人　　　　　　　　〈H28〉84人

チーム設置〈H28〉７市町　　　　推進員配置〈H28〉15市町村

○若年性認知症相談・支援センターの設置（H28.7）

●認知症の　早期診断・早期対応、医療と介護の連携促進

●事故を未然に防ぐ体制整備

●若年性認知症への支援

**認知症**

H29年度に高岡医療圏（高岡市民病院）で設置予定

○特別養護老人ホームの定員数(地域密着型を含む)

　　<H22.3>5,317人　⇒　<H28.3>5,921人

○認知症高齢者グループホームの定員数

　　<H22.3>1,202人　⇒　<H28.3>2,159人

○小規模多機能型居宅介護事業所の定員数

<H22.3>　713人　⇒　<H28.3>1,977人

○介護職員処遇改善加算の取得促進

H24～1人当たり月額1万5千円相当の加算･･･9割強の事業所が取得

H27～1人当たり月額1万2千円相当の上乗せ加算･･･8割の事業所が取得

●新総合事業の開始時期

H29年4月には全保険者で開始見込み

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| H27年度 | H28年度 | H29.4 |
| 新川組合（H27.4）  魚津（H28.3） | 砺波組合（H28.4）  氷見（H29.1） | 富山  高岡  滑川  射水  中新川 |

**◇介護サービスの充実、介護人材の処遇・雇用環境の改善**

地域密着型介護サービス施設整備への支援 17億2,105万円

介護人材の処遇改善　　　　　　　　　 1億7,720万円

新たに介護職員1人当たり月額平均1万円相当の処遇改善を実施

介護職員処遇改善加算の取得促進 1,000万円

　 新たな加算の周知、社会保険労務士派遣によるキャリアパス整備支援

○がんばる介護事業所表彰事業（要介護度維持改善、雇用環境改善） 230万円

○介護ロボットを活用した先駆的な取組みへの支援　　　　150万円

●要介護者の増加

●介護人材の確保

**介　護**

**Ｂ 在宅医療の推進･介護との連携**